

米子工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	ドイツ語 I	
科目基礎情報							
科目番号	0054		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	建築学科		対象学年		4		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	ドイツ語初歩の初歩						
担当教員	中島 美智子,森田 典幸,酒井 康宏,青砥 正彦,鈴木 草子,渡邊 眞子						
到達目標							
1. 綴りと発音の関係を理解し文を正しく音読できるようにする。 2. 基本的な語句を習得し、挨拶、自己紹介、質問、要求の表現ができるようにする。 3. 音声、または文字による質問に対して的確に応答できるようにする。 4. 基本的な文構造を理解し平易な文章の読解、簡単な作文ができるようにする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	綴りと発音の関係を理解し文を正しく音読できる。		綴りと発音の関係を理解できる。		綴りと発音の関係を理解できない。		
評価項目2	基本的な語句を習得し、挨拶、自己紹介、質問、要求の表現ができる。		基本的な語句を習得する。		基本的な語句を習得できない。		
評価項目3	音声、または文字による質問に対して的確に応答できる。		音声、または文字による質問に対して応答できる。		音声、または文字による質問に対して的確に応答できない。		
評価項目4	基本的な文構造を理解し平易な文章の読解、簡単な作文ができる。		基本的な文構造を理解し平易な文章の読解ができる。		基本的な文構造を理解し平易な文章の読解、簡単な作文ができるようにする。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 E-1 JABEE f							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法	授業に参加してもらい、基本的な表現を繰り返し練習します。 ドイツという国を様々な角度から紹介していきます。						
注意点	遅刻をしないこと。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス ドイツってどんな国		ドイツという国について理解できる		
		2週	ドイツの歴史、文化、生活		ドイツについて文化が理解できる		
		3週	アルファベットと基本の発音、つづりの読み方		発音の仕方が理解できる		
		4週	挨拶、人称代名詞		人称代名詞について理解できる		
		5週	重要動詞、人称変化		重要動詞について理解できる		
		6週	名詞の性別・格		名詞について理解できる		
		7週	定冠詞、不定冠詞		冠詞について理解できる		
		8週	前期中間考査		前期中間までの項目が理解できる		
	2ndQ	9週	不規則動詞		不規則動詞について理解できる		
		10週	定動詞の位置		定冠詞の位置について理解できる		
		11週	命令文		命令文について理解できる		
		12週	否定		否定について理解できる		
		13週	所有代名詞、指示代名詞		所有代名詞について理解できる		
		14週	前期末のまとめ		前期末までの項目について理解できる		
		15週	前期末考査		前期末までの項目について理解できる		
		16週	前期末の復習		前期末までの項目について理解できる		
後期	3rdQ	1週	名詞の格		名詞の格について理解できる		
		2週	疑問詞		疑問詞について理解できる		
		3週	疑問詞		疑問詞について理解できる		
		4週	話法の助動詞		話法について理解できる		
		5週	接続詞		接続詞について理解できる		
		6週	分離動詞、非分離動詞		分離動詞について理解できる		
		7週	後期中間考査		後期になったからの事項について理解できる		
		8週	再帰代名詞、再帰動詞		再帰代名詞について理解できる		
	4thQ	9週	過去		過去形について理解できる		
		10週	完了形		完了形について理解できる		
		11週	未来形		未来形について理解できる		
		12週	ドイツ語会話		会話について理解できる		
		13週	ドイツ語会話		会話について理解できる		
		14週	後期のまとめ		後期の事項について理解できる		
		15週	学年末試験		今までの学習が理解できている		

		16週	1年のまとめ	1年間の文法事項すべてが理解できる			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	工学基礎	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15	
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	10	0	10	0	10	100
基礎的能力	70	10	0	10	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0